2015年度　前期　　　　　リフレクションペーパー

学科名	情報学科					
科目名	ソフトウェア工学					
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期	
必修・選択の別	必修					
担当者	高橋圭一					
授業の到達目標（シラバスから）	・ウォーターフォールモデル、プロトタイピングモデル、スパイラルモデルなど基本的なソフトウェア開発プロセスについて理解する。 ・要求分析、設計、実装、テスト、保守に関する基本的な用語及び手順を理解する。 ・プロジェクト管理、品質管理、工数見積りに関する概要及び基本的な用語及び手順を理解する。					
日程と内容	4/13 導入講義 4/20 コンピュータとソフトウェア 4/27 ソフトウェア・ライフサイクル 5/ 2 ソフトウェア開発プロセス 資料 5/11 ソフトウェア見積技法 5/18 構造化分析・設計・プログラミング 資料 5/25 構造化分析・設計・プログラミング 6/ 1 構造化分析・設計・プログラミング 6/ 8 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/15 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/22 オブジェクト指向分析・設計・プログラミング 6/29 ソフトウェアの品質管理 7/ 6 プロジェクト管理 7/13 ソフトウェアの保守・標準化 7/18 まとめ 7/25 定期試験					
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%		
	臨時試験	0%	部外評価	0%		
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%		
	課題	0%				
	演習	0%	計	100%		
授業到達目標の達成度	・ウォーターフォールモデル、プロトタイピングモデル、スパイラルモデルなど基本的なソフトウェア開発プロセスについて理解する。：達成した ・要求分析、設計、実装、テスト、保守に関する基本的な用語及び手順を理解する。：達成した ・プロジェクト管理、品質管理、工数見積りに関する概要及び基本的な用語及び手順を理解する。：達成した					
反省点	昨年度、毎週ノートを提出させチェックしたが検査の負荷のわりに学習効果の向上は見られなかった。今年度は従来通り、資料を配布して講義した。					
来年度の計画	講義の合間に講義の内容が実社会でどのように活用されているのか事例紹介を挟み込んだ。アンケート（設問16）では4.1とまずまずの評価だった。来年度もそのときどきにあった事例紹介を行っていきたい。					
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8．1であった。アンケートのコメントに「わかりやすい」「資料が見やすい」「資格試験や将来役立ちそうな内容だった」などのコメントが複数あった。わかりにくい点「is-a, part-ofの区別がわかりにくい」などの指摘もあり、来年度の講義で改善していきたい。					

履修登録者数	72 名	定期試験受験者数	68 名	合格者数	63 名	合格率	93%